



2024 年 12 月

いちごぐみだより

尚徳福祉会 おぐら保育園



あっという間に過ぎた一年を振り返りながら、年の瀬を感じるこの頃…寒さが身に染みる季節となりました。とはいえ、子どもたちは園庭で元気いっぱいに遊んでいます。保育者が戸外に出る支度を始めると、頭を指差し、帽子を要求したり、靴下入れに手を伸ばし靴下を用意しようとしたりと、自ら準備をする子の姿が多く見られるようになりました。戸を開けると張り切って外に出て、一斉に砂場の方へ向かう姿が可愛い今日この頃です。



おかわり～♪

給食の準備が始まると、我こそはさきに・・・と言わんばかりに動き出す子どもたち。好き嫌いや食ベムウもありますが、「おかわり～」と器を保育者に差し出し要求します。「ちょっと待っててね。もうないから給食さんに聞いてくるね。」と言って戻ると、椅子に座って待っていることができますのです。そんな姿が可愛くて仕方ありません。



♡おともだち♡

今までは、相手を意識しつつ、同じ空間で遊んでいることが多かったのですが、今では玩具の貸し借りなどを言葉や仕草で相手に伝え、子ども同士やり取りをして遊んでいる姿が多く見られるようになりました。まだ、はっきりしない言葉でも子ども同士はわかり合い、笑い合っています。



ほっこりエピソード

お友だちが泣いていると駆け寄ってムギュ～っとする姿、頭をなでる姿、顔を覗き込み、声かけをする姿と、小さいながらも相手を思いやる姿が見られます。まだ、力の加減が分からないため、「あっ」と思う時もありますが、保育者がそばに付き、怪我につながらないように気を付けながら、子どもたちの優しい気持ちを大切に育んで行きたいと思います。

てあそびだいすき

子どもたちは、「はじまるよ♪はじまるよ♪」と保育者が歌い出すと声がする方に集まり、手遊びを始めます。今までは保育者の動きを見ただけだった子も一緒になってまねをします。保：保育者 子：子ども
保：「い～ちとい～ちで、にんじゃだよ」
子：「にん」
保：「に～とに～でカニさんだよ」
子：「チョキン」
と、言葉のやり取りもできるようになりました。

おねがい

寒さも厳しくなってきたので、引き出しの中を確認していただき、長袖・長ズボンのご用意をお願いいたします。



鼻水が出る時

普段はある程度の鼻水があっても、鼻からあふれ出ることはありませんが、風邪のウイルスや細菌が入ってくると鼻の粘膜がはがれ、いつも以上に粘膜を出します。透明の鼻水が出ると風邪の引き初めで、黄色い鼻水になるとウイルスと戦っているということです。栄養や十分な睡眠をとって、元気な身体で過ごせるようにしましょう。

